

## 商標

Autel®、MaxiSys®、MaxiDAS®、MaxiScan®、MaxiTPMS®、MaxiRecorder® および MaxiCheck®は、Autel Intelligent Technology Corp.、Ltd.の商標であり、中国、米国およびその他の国で登録されています。他のすべてのマークは、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

## 著作権情報

Autelの事前の書面による許可なしに、このマニュアルのいかなる部分も、電子的、機械的、写真複写、記録、またはその他の方法または手段によって、複製、検索システムに保存、または送信することはできません。

## 保証の免責および責任の制限

このマニュアルのすべての情報、仕様、図は、印刷時に入手可能な最新情報に基づいています。

Autelは、予告なしにいつでも変更を行う権利を留保します。このマニュアルの情報の正確性については慎重に確認しておりますが、製品の仕様、機能、および図の完全性および正確性については保証されません。

Autelは、直接的、特別、偶発的、間接的な損害、または経済的損害（利益の損失を含む）に対する責任を負いません。

---

## ❗重要

このツールを操作または保守する前に、このマニュアルを注意深く読み、安全上の警告と注意事項に特に注意してください。

---

## サービスとサポートの場合



[pro.autel.com](http://pro.autel.com)

[www.autel.com](http://www.autel.com)

[www.maxitpms.com](http://www.maxitpms.com)



1-855-288-3587（北米）



[supporttpps@auteltech.com](mailto:supporttpps@auteltech.com)

詳細については、この本マニュアルを参照してください。

## 安全情報

---

あなた自身の安全と他者の安全のため、また使用される装置と車両の損傷を防ぐために、このマニュアル全体で示されている安全上の注意事項を、操作または接触するすべての人が読んで理解することが重要です。

車両を整備するためのさまざまな手順、技術、ツール、および部品が必要であり、作業を行う人のスキルも必要です。この装置でテストできる製品には膨大な数のテストアプリケーションとバリエーションがあるため、あらゆる状況に対応するためのアドバイスや安全メッセージを予測または提供することはできません。テスト対象のシステムに精通することは、自動車技術者の責任です。適切な保守方法とテスト手順を遵守することが重要です。あなたの安全、作業エリアの他の人の安全、使用中のデバイス、またはテスト中の車両を危険にさらさない適切で許容可能な方法でテストを実行することが不可欠です。 デバイスを使用する前に、テスト対象の車両または機器のメーカーが提供する安全メッセージと適用可能なテスト手順を常に参照して、それに従ってください。このマニュアルに記載されている方法でのみデバイスを使用してください。このマニュアルのすべての安全メッセージと指示を読み、理解し、従ってください。

## 安全メッセージ

---

人体への傷害および機器の損傷を防ぐために、安全メッセージが提供されています。すべての安全メッセージは、危険レベルを示す注意喚起で紹介されています。

### 危険

回避しないと、オペレーターまたは傍観者が死亡または重傷を負う差し迫った危険な状況を示します。

---

## 警告

回避しないと、オペレーターまたは傍観者が死亡または重傷を負う差し迫った危険な状況を示します。

---

## 安全指示

---

本書の安全メッセージは、Autel が認識している状況をカバーしています。Autel は、可能性のあるすべての危険を評価または推奨することができません。発生した状態やサービス手順が個人の安全を危険にさらさないことを確認する必要があります。

---

## 危険

エンジンが稼働している間は、サービスエリアの通気を良好に保つか、エンジン排気システムに建物排気ガス除去システムを設置します。エンジンは無臭の有毒ガスである一酸化炭素を生成し、反応時間が遅くなり、重傷や人命の損失につながる可能性があります。

---

## 安全上の警告

- 常に安全な環境で自動車試験を実施してください。
- ANSI 規格に適合する安全保護具を着用してください。
- 衣装、髪、手、道具、試験装置などを、すべての可動部品または高温のエンジン部品に近づけないでください。
- 排気ガスは有毒なので、換気の良い作業エリアで車両を操作してください。
- トランスミッションをパーキング（オートマチックトランスミッション）またはニュートラル（マニュアルトランスミッション）に入れ、パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
- 駆動輪の前にブロックを置き、テスト中は車両から離れないでください。
- イグニッションコイル、配電キャップ、イグニッションワイヤやスパークプラグ周辺での作業には細心の注意を払う必要があります。これらのコンポーネントは、エンジンの稼働中に危険な電圧を生成します。

- ガソリン、化学薬品、および電気の火災に適した消火器を近くに置いてください。
- イグニッションがオンになっているとき、またはエンジンが稼働しているときは、テスト機器を接続したり切断したりしないでください。
- テスト機器を乾燥した清潔な状態に保ち、油、水、またはグリースを含まないようにします。必要に応じて、清潔な布に中性洗剤を使用して、機器の外側を清掃します。
- 車両を運転すると同時にテスト機器を操作しないでください。事故を引き起こすことがあります。
- サービス対象の車両のサービスマニュアルを参照し、すべての診断手順と注意事項に従ってください。従わない場合、人身傷害または試験装置の損傷につながる可能性があります。
- テスト機器の損傷や誤ったデータの生成を防ぐため、車両のバッテリーが完全に充電され、車両の DLC への接続が確実であることを確認してください。
- テスト機器を車両のディストリビューターに置かないでください。強い電磁干渉は機器を損傷する可能性があります。

# 目次

安全情報 .....	II
安全メッセージ .....	II
安全指示 .....	III
1 マニュアルの使用 .....	1
1.1 規則 .....	1
1.1.1 太字 .....	1
1.1.2 注意と重要なメッセージ .....	1
1.1.3 ハイパーリンク .....	2
1.1.4 イラスト .....	2
2 製品説明 .....	3
2.1 MaxiTPMS TBE200 測定器 .....	3
2.1.1 機能説明 .....	3
2.1.2 電源 .....	5
2.1.3 技術仕様 .....	6
2.2 その他のアクセサリ .....	7
3 はじめに .....	8
3.1 パワーアップ .....	8
3.1.1 システムステータスアイコン .....	9
3.1.2 アプリケーションボタン .....	9
3.1.3 ロケータ .....	10
4 タイヤ溝深さ測定 .....	11
4.1 チェックモード .....	12
4.2 詳細 .....	13
5 ブレーキディスク測定 .....	15
5.1 チェックモード .....	15
5.2 詳細 .....	16
6 クイックチェック .....	17
6.1 チェックモード .....	18
6.2 詳細 .....	18
7 測定設定 .....	20

7.1	タイヤ数量.....	20
7.2	単位.....	20
7.3	タイヤ種類.....	20
7.4	タイヤ溝の測定モード.....	21
7.5	ブレーキディスク摩耗限度.....	21
8	データファイル.....	22
9	システム校正.....	23
10	設定.....	24
10.1	ネットワーク接続.....	24
10.2	明るさ.....	24
10.3	S スリープ.....	24
10.4	自動シャットダウン.....	24
10.5	言語と地区.....	25
10.6	インフォメーション.....	25
10.7	アップデート.....	25
10.8	初期設定.....	25
10.9	アニメーション回復ガイド.....	25
11	メンテナンスとサービス.....	26
11.1	メンテナンス手順.....	26
11.2	故障時のガイド.....	26
12	サービス手順.....	28
12.1	テクニカルサポート.....	28
12.2	リペアサービス.....	29
12.3	他のサービス.....	30
13	コンプライアンス情報.....	31
13.1	FCC COMPLIANCE FCC ID: WQ8TBE200.....	31
13.2	SAR.....	32
13.3	RF 警告宣言.....	32
13.4	RoHS コンプライアンス.....	32
13.5	CE コンプライアンス.....	32
14	保証.....	33

14.1	12 ヲ月限定保証.....	33
------	----------------	----

# 1 マニュアルの使用

このマニュアルには、デバイスの使用手順が含まれています。

このマニュアルに示す一部の図には、システムに含まれていないモジュールやオプションの機器が含まれている場合があります。他のモジュールやオプションのツールやアクセサリーの入手方法については、営業担当者にお問い合わせください。

## 1.1 規則

---

次の規則が使用されます。

### 1.1.1 太字

**太字**のテキストは、ボタンやメニューオプションなどの選択可能な項目を強調するために使用されます。

例:

- **OK** をタップします。

### 1.1.2 注意と重要なメッセージ

*注意*

**注意**には、追加の説明、ヒント、コメントなどの役立つ情報が記載されています。

*重要*

**重要**は、回避されない場合、試験装置または車両に損傷を与える可能性がある状況を示します。



### 1.1.3 ハイパーリンク

他の関連記事、手順、および図へのハイパーリンクまたはリンクは、電子文書で入手できます。青色の斜体テキストは選択可能なハイパーリンクを示し、青色の下線付きテキストはウェブサイトリンクまたは電子メールアドレスリンクを示します。

### 1.1.4 イラスト

このマニュアルで使用されている図は例です。実際のテスト画面は、テスト対象の車両ごとに異なる場合があります。メニューのタイトルと画面上の指示を注意深く観察して、適切な選択を行います。

## 2 製品説明

Autel MaxiTPMS TBE200 測定器(以下「ツール」といいます)は、レーザー対応タイヤ&ブレーキディスク摩耗測定ツールで、タイヤを取り外すことなくブレーキディスクの摩耗を測定する機能と共に、迅速かつ正確なタイヤ摩耗測定をユーザーに提供します。このツールのデュアルカメラにより、ユーザーはタイヤの摩耗や損傷を文書化し、タイヤ識別番号(TIN)をスキャンすることができます。このツールは、単独で使用することも、ITS600/ITS600 Proなどの互換性のある Autel 診断タブレットで使用して、詳細な TPMS レポートを表示および印刷することもできます。

このマニュアルでは、工具の構築と操作、タイヤ&ブレーキディスクの摩耗のテスト方法について説明します。

### 2.1 MaxiTPMS TBE200 測定器

---

#### 2.1.1 機能説明

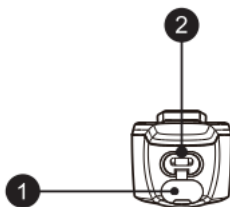


図 2-1 測定器の下

1. USB タイプ C ラバープラグ
2. USB タイプ C ポート

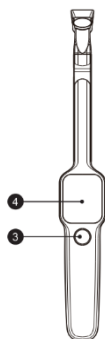


図 2-2 測定器の正面図

3. 電源/測定ボタン —このボタンを 3 秒間押し続けて、ツールの電源をオン/オフします。目的のアプリケーションを選択し、測定を取るためにボタンを押します。
4. 1.65 インチ AMOLED スクリーン

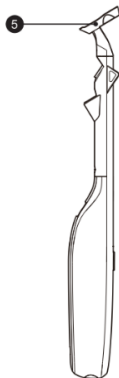


図 2-3 測定器の外側

5. 頭の部分磁石付き

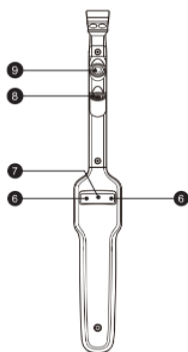


図 2-4 測定器の裏面

6. カメラフラッシュ
7. 800 万画素カメラ
8. レーザーダイオード
9. 100 万画素カメラ

## 2.1.2 電源

このツールは、次のいずれかのソースから電力を受け取ることができます。

- 内部バッテリーパック
- AC/DC 電源

### 内部バッテリーパック





このツールは、理論的には完全に充電された場合に約 8 時間の連続動作に十分な電力を供給できる内部充電式バッテリーによって動力を与えることができます。

### AC/DC 電源

タブレットは、AC / DC 電源アダプターを使用してコンセントから給電できます。AC / DC 電源は、内部バッテリーパックも充電します。

## 2.1.3 技術仕様

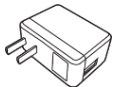

表 2-1 技術仕様

アイテム	説明
製品名	タイヤ & ブレーキディスク測定器
レーザー分類	クラス 3R レーザー製品 IEC 60825-1:2014
ピック時の波長	520nm
ラベリング	<p><b>AUTEL® Tire&amp;Brake Disc Examiner</b>            MaxiTPMS TBE200 PSN: TB2GL8C01001            FCC ID : WQ8TBE200 <b>RoHS</b>            Rate:5V ≒1.5A <b>FC CE</b>              Made in China</p>  <p style="text-align: right; font-size: small;">IEC 1072/14</p> 
プロセッサ	4x ARM Cortex-A35 (1.5GHz)
メモリ	1GB RAM LPDDR3 & 4GB On-board Memory
画面	348x442 の 1.65 インチ Amoled タッチスクリーン

アイテム	説明
接続	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Wi-Fi</li> <li>● USB T タイプ C</li> </ul>
マイクロ	CMOS、1 メガピクセル&8 メガピクセル
オーディオ出力	出力: 振動ビーブ音
バッテリー	3.7V / 3000mAh18650 リチウムイオン電池
バッテリー寿命	1 回の充電で約 8 時間の連続使用
バッテリー充電入力	5V/1.5A
電力消費	300mA (AMOLED オン、明るさデフォルト) @ 3.7V
作動温度	-10 to 45°C (14 to 113°F)
保管温度	-20 to 60°C (-4 to 140°F)
寸法(W x H x D)	283.0mm (11.14") x 39.0mm (1.54") x 33.5mm (1.32")
重量	188g (0.41lb.)

## 2.2 その他のアクセサリ

表 2-2 アクセサリ

	<p><b>電源アダプター</b></p> <p>USB ケーブルと共に使用され、電源を入れ、電源コンセントを介してツールを充電します。</p>
	<p><b>タイプ C USB ケーブル</b></p> <p>電源アダプターと電源供給用のツールを接続します。</p>

### 3 はじめに

ツールがインターネットに接続され、十分に充電されていることを確認します(電源を参照)。製品は、タイヤレッドチェック、ブレーキディスクチェック、キャリブレーションの実際の動作中に、太陽光や近距離のトーチライト、懐中電灯などの直接光の露出を避ける必要があります

#### 3.1 パワーアップ

ツールの電源ボタンを押し続け、電源を入れ替えます。システムが起動し、TBE200 ジョブメニューが表示されます。



図 3-1 TBE200 メニュー

- ① システムステータスアイコン
- ② アプリケーションボタン
- ③ ロケータ







### 3.1.1 システムステータスアイコン

MaxiTPMS TBE200 は Linux オペレーティング・システム上で実行されるので、追加情報については Linux の文書を参照してください。


### 3.1.2 アプリケーションボタン

次の表は、TBE200 の各アプリケーションについて簡単に説明しています。

表 3-1 アプリケーションボタン

ボタン	名称	説明
	タイヤ溝深さ測定	ツールの <b>タイヤ溝チェック</b> 機能にアクセスします。詳細については、 <b>12 ページのタイヤ溝チェック</b> を参照してください。
	ブレーキディスク	<b>ブレーキディスク</b> 摩耗測定機能を起動します。詳細については、 <b>16 ページのブレーキディスクチェック</b> を参照してください。
	クイックチェック	タイヤトレッドの深さとブレーキディスクの摩耗測定を測定するための <b>クイックチェック</b> を実行できます。詳細については、 <b>18 ページのクイック チェック</b> を参照してください。
	測定設定	<b>測定設定</b> を調整します。詳細については、 <b>21 ページの設定の確認</b> を参照してください。
	データファイル	以前の測定値のデータを表示します。詳細については、 <b>23 ページのデータファイル</b> を参照してください。
	システム調整	測定システムを調整します。詳細については、 <b>24 ページのシステム調整</b> を参照してください。



	設定	「設定」メニューにアクセスします。詳細については、25 ページの設定を参照してください。
--	----	--

### 3.1.3 ロケータ

TBE200 画面の下部に **ロケータ** アイコンが表示されます。画面を左右にスライドすると、前の画面または次の画面が表示されます。

## 4 タイヤ溝深さ測定

タイヤトレッドは、レーザー技術を使用して、タイヤを取り外す必要のない車両のタイヤの摩耗を分析します。工具をタイヤの上に置き、レーザービームを投影します。摩耗測定は、0.1mm 以内の精度で表示画面に送信されます。測定値もグラフィカルに表示されます。

タイヤトレッドアプリケーションは、「オールトレッド」と「シングル」の2種類のチェックを提供します。このアプリケーションを使用すると、現在のモードから代替モードを選択するように求めるメッセージが表示されます。チェックの設定で、既定のチェックモードを構成できます。詳細については、21 ページの**設定**の確認を参照してください。

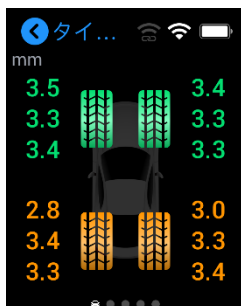






図 4-1 タイヤ溝深さチェック画面

タイヤの摩耗の度合いは、以下に示すように異なる色で表されます：

表 4-1 測定の結果

アイコン	結果	説明
 (灰色)	未チェック	再度実施してください
 (緑色)	正常	定期的のチェックお勧めします
 (黄色)	警告: 限度値に近いです。	交換をお勧めします
 (赤色)	危険: 限度値以下。	直ちに交換してください

## 4.1 チェックモード

タイヤ測定アプリケーションでは、次の2つのチェックモードを使用できます：

### シングルチェック

シングルタイヤチェックは、タイヤの中央部のトレッド深さを調べることにより、車両の各タイヤの摩耗を測定します。オールトレッドチェックとは異なり、シングルタイヤチェックでは各タイヤに対して1つの測定しか行えません。

### オールトレッドチェック

オールトレッドチェックは、タイヤの摩耗を3つの別々の領域（外側、中央、内側）で調べ、より包括的な分析を行います。

#### ▶ タイヤトレッドチェックを実行するには

1. メインメニューのタイヤトレッドアプリケーションアイコンをタップします。
2. プロンプトが表示されたら、チェックモードを選択します。
3. タイヤ表面に工具を置き、電源/測定ボタンをタップして測定を開始します。
4. 測定が画面に表示されます。

5. 画面上のホイールの位置を選択し、詳細を表示するために左にスワイプし、詳細画面を下にスクロールして、トレッドウェアの分析やメンテナンスの提案などの追加情報を表示します。

---

## 🔪 注意

最適な測定を行う場合は、磁気ヘッドがトレッドに取り付けられ、レーザー一線が測定される溝に垂直であることを確認してください。

---

## 4.2 詳細

---

詳細画面には、多種多様なタイヤの摩耗情報が表示されます。測定が画面に表示されたら、ホイールの位置を選択し、左にスワイプして選択したタイヤの**詳細**を表示します。以下は、詳細セクションで紹介される主なセクションです：

- 1) グラフィック測定 — タイヤの摩耗の度合いが異なる色で計測データをグラフィカルに表示します。
  - オールトレッドチェックモードのグラフィック測定では、タイヤの3つの領域(内側、中央、および外側)の摩耗測定値が表示されます。シングルチェックでは、タイヤごとに1つの測定値のみが表示されます。
- 2) ブレーキ間隔 — タイヤのトレッド深さとタイヤタイプの両方を選択して、テスト車両の停止距離を表示します。このセクションの後に、摩耗分析とメンテナンスの提案が続きます。

以下の3つのタイヤ関連セクションは、**ブレーキ ディスク**を除くすべてのチェックモードで提供されます：

- 3) **タイヤの状態** — タイヤの状態を表示します(通常、摩耗、膨らみなど)。
- 4) **タイヤ DOT** — サイドウォールにあるタイヤ DOT シリアル番号をスキャンまたは手動で入力して、タイヤリコール(アメリカ地域のみ)やタイヤ時代などの基本的なタイヤ特性を取得します。
- 5) **タイヤ仕様** — 一連のオプションを表示し、ブランド、タイヤモデル、サイズ、構造タイプコードなど、タイヤ情報を手動で入力します。



図 4-2 Details Screen

## 5 ブレーキディスク測定

MaxiTPMS TBE200 レーザー対応ツールは、ブレーキディスクの摩耗を迅速かつ正確に検査します。タイヤを取り外すことなく、ブレーキディスクの摩耗状態を調べることができます。測定はグラフィカルに表示されます。ブレーキディスク機能は、ブレーキディスクの摩耗測定を提供するだけでなく、運転の安全性を確保するための分析も提供します。

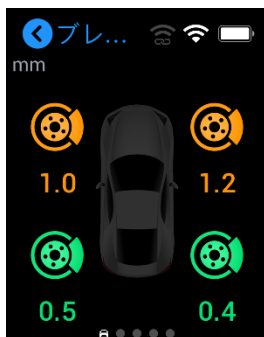






図 5-1 ブレーキディスクチェック画面

下に表示される色でグラフィカルに表示されます。

表 5-1 測定の可能性のある結果

アイコン	結果
 (灰色)	未チェック
 (緑色)	正常
 (黄色)	交換をお勧めします
 (赤色)	直ちに交換してください

### 5.1 チェックモード

ブレーキディスクチェック

ブレーキディスク機能は、ブレーキディスクの摩耗をチェックし、摩耗分析を提供します。このチェックモードは、ブレーキディスクの測定のみに関点を当てています。

➤ **ブレーキディスクチェックを実行するには**

1. メインメニューの**ブレーキディスクアプリケーションアイコン**をタップします。
2. ツールをディスク表面に置き、電源/測定ボタンを押して測定を開始します。
3. リアルタイム測定データは、異なる色で表される摩耗状態で画面に表示されます。
4. 画面でディスクの場所を選択し、左にスワイプして詳細を表示し、画面を下にスクロールして摩耗分析を表示します。

## 5.2 詳細

詳細画面には、ブレーキディスクの摩耗に関する情報が表示されます。測定が画面に表示されたら、ディスクの位置を選択し、左にスワイプして選択したディスクの詳細を表示します。以下は、**詳細**セクションで紹介される主なセクションです：

- 1) **グラフィック測定** — 測定データを色でグラフィカルに表示し、ディスクの摩耗状態を示します。
- 2) **消耗分析** — ディスク交換に関するサービスの推奨事項を表示します。



図 5-2 詳細画面

## 6 クイックチェック

クイックチェック機能は、1回のセッションでタイヤとブレーキディスクを測定するように特別に設計されています。このモードはまたタイヤおよびブレーキディスクの摩耗の総合的な分析を提供します。

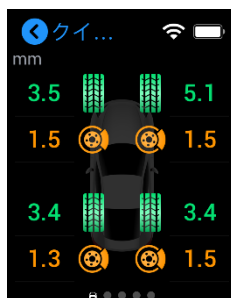




図 6-1 クイックチェック

摩耗の程度は色で示されています：

表 6-1 測定の可能性のある結果

タイヤ アイコン	ブレーキ ディスク アイコン	結果	アドバイス
 (灰色)		未チェック	タイヤはチェックされていません。
 (緑色)		正常	定期的のチェックをお勧めします。
 (黄色)		警告: 限度値に近いです。	交換をお勧めします。



タイヤ アイコン	ブレーキ ディスク アイコン	結果	アドバイス
 (赤色)		危険: 限度値以下。	直ちに交換してください。

## 6.1 チェックモード

### クイックチェック

クイックチェック機能は、トレッド深さとブレーキディスクの摩耗の測定を組み合わせたものです。

#### ▶ クイックチェックを実行するには

1. メインメニューのクイックチェックアプリケーションアイコンをタップします。
2. 工具を最初にタイヤ表面に配置してから、ディスク表面に電源/測定ボタンを押して各工具の測定を行います。
3. リアルタイム測定データは、異なる色で示された摩耗状態で画面に表示されます。
4. 画面上のホイールまたはディスクの位置を選択し、左にスワイプして詳細を表示し、下にスクロールして摩耗分析やメンテナンスの提案などの追加情報を表示します。

## 6.2 詳細

詳細画面には、タイヤとブレーキディスクの摩耗測定に関する追加情報が表示されます。測定が画面に表示されたら、ホイールまたはディスクの位置を選択し、左にスワイプして選択したタイヤまたはディスクの詳細を表示します。以下は、**詳細**セクションで紹介されている主なタイヤ関連のセクションです：

- 1) グラフィック測定 — さまざまな色で測定データをグラフィック表示し、摩耗条件を変えます。
  - **クイックチェック**のグラフィック測定はタイヤとブレーキディスクの摩耗測定を表示します。

- 2) **ブレーキ間隔** — タイヤトレッドの深さとタイヤタイプに基づいて、車両の停止距離をグラフィカルに表示します。このセクションでは、タイヤの摩耗の分析とメンテナンスの提案も続きます。
- 3) **タイヤの状態** — タイヤの状態を表示します(通常、摩耗、膨らみなど)。
- 4) **タイヤ DOT** — タイヤリコール(アメリカ地域のみ)やタイヤ時代などの基本的なタイヤ特性を取得するために、サイドウォールにあるタイヤ DOT シリアル番号をスキャンまたは手動で入力します。
- 5) **タイヤ仕様** — 一連のオプションを表示し、ブランド、タイヤモデル、サイズ、構造タイプコードなど、タイヤ情報を手動で入力します。
- 6) **摩耗分析** — タイヤとブレーキディスクの交換推奨を表示します。



図 6-2 詳細画面

# 7 測定設定

メイン画面の「測定設定」アイコンをタップすると、オプションのリストが表示されます。これらのタイヤ関連の設定を最適なオールトレッドチェックとシングルチェック結果のためにお好みに合わせて調整します。

## 7.1 タイヤ数量

---

デフォルトタイヤ数は4です。車両にタイヤが6本装着されている場合は、タイヤの溝深さを測定する前にタイヤ数を6個に調整してください。

## 7.2 単位

---

このオプションを使用すると、タイヤチェックの測定単位を調整できます。適切な測定単位、メートルまたはインペリアルを選択するだけです。アクティブな選択範囲の右側にチェックマークが表示されます。

## 7.3 タイヤ種類

---

タイヤ種類設定は、車両に適したタイヤタイプを選択します。夏、冬、オールシーズンの3種類のタイヤがございます。タイヤ種類を選択できます。アクティブな選択範囲の左側にチェックマークが表示されます。

各タイヤオプションのすぐ下には、タイヤの摩耗限界がデフォルト値の1.6~3.2mmです。タイヤオプションバーの右下隅にある矢印アイコンをタップして、トレッドの摩耗数値を変更できます。

### 注意

トレッドに1.6mmが残っている場合、タイヤを直ちに交換する必要があることを示します。トレッドに3.2mmが残っている場合、タイヤの交換が推奨されていることを示します。

---

## 7.4 タイヤ溝の測定モード

---

このオプションでは、トレッドチェック測定を開始する前に、**シングルチェック**と**オールトレッドチェック**のいずれかを選択できます。チェックモードを選択すると、アクティブな選択範囲の右側にチェックマークが表示されます。

## 7.5 ブレーキディスク摩耗限度

---

このオプションを使用すると、ブレーキディスクチェックのブレーキディスクの摩耗限度を調整できます。ディスク摩耗の限度は常にメートル単位であることに注意してください。

## 8 データファイル

データファイルは、最新の測定データの結果を格納します。ツールが ITS600 タブレットに接続されると、前回のセッションの測定値が自動的にタブレット画面に表示されます。

新しい測定データが開始されると、以前のテスト結果が新しい結果に置き換えられます。

## 9 システム校正

システム校正アプリケーションは、最適な測定結果を得るために検査ツールを校正するために使用されます。

メイン画面で、**Sys.校正**アイコンをタップし、校正テーブルに磁気ヘッドを置きます。電源/測定ボタンを押して開始します。校正が完了するまで1~2分待ちます。

校正は2ヵ月ごとに推奨されます。偏差が検出されたとき、またはツールが落とされたり、何らかの方法で誤って処理されたりした場合に、即時校正を行う必要があります。

---

### ❶ 重要

システム校正する前に、磁気ヘッドを乾燥させて、汚れ、ほこり、水汚れ、油などを清掃して綺麗な状態を保せないと校正結果に影響を与える可能性があります。

---

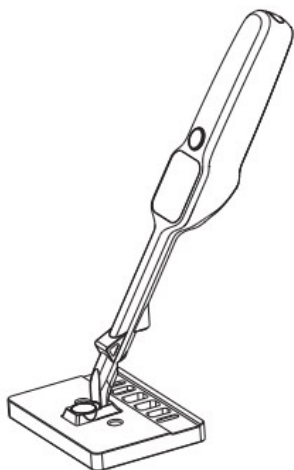


図 9-1 システム校正

## 10 設定

システム設定メニューにアクセスして、デフォルト設定を調整し、TBE200に関する情報を表示します。システム設定メニューには、次の項目が含まれます：

### 10.1 ネットワーク接続

---

このオプションは、ツールをインターネットに接続するためのオプションです。Wi-Fi と Wi-Fi ダイレクトの 2 種類のネットワークがあります。切り替えをスワイプするだけでオンになります。

#### ⓘ 注意

包括的な検査レポート用に、ツールと ITS600 タブレットをペアリングする際に、Wi-Fi と Wi-Fi Direct の両方をオンにします。

---

### 10.2 明るさ

---

このオプションを使用すると、画面の明るさを手動で調整できます。画面を明るくするために、右側の明るさのアイコンをタップし、画面を暗くする左側のアイコンをタップします。

### 10.3 S スリープ

---

このオプションを使用すると、ツールが「スリープ/低電力モード」に移行するまでの時間を設定して、バッテリーの寿命を節約できます。選択できるオプションは 3 つのオプション (30、60、および 120 秒)。

### 10.4 自動シャットダウン

---

このオプションを使用すると、ツールの電源が自動的にオフになる前に、時間 (分単位) を調整できます。選択できるオプションは、5、10、15、20 分の 4 つがあります。この設定を調整すると、アクティブな選択範囲の右側にチェックマークが表示されます。

## 10.5 言語と地区

---

このオプションを使用すると、TBE200 の領域を調整できます。19 の地域があります。デバイスを使用するリージョンを選択します。選択した領域の右側にチェック マークが表示されます。

## 10.6 インフォメーション

---

バージョン情報機能は、製造元、モデル名、シリアル番号、パスワード、ファームウェアバージョン、Wi-Fi MAC など、ツールに関する情報を提供します。

## 10.7 アップデート

---

更新オプションには、ツールで利用可能な最新のソフトウェア更新プログラムが表示されます。ソフトウェアを更新する前に、ツールのネットワーク接続が安定していることを確認してください。ソフトウェアアップデートが利用可能な場合、メインジョブ画面の右上隅にある設定アイコンの上に赤い点が表示されます。更新をタップしてソフトウェアをインストールします。

### NOTE

ソフトウェアをアップデートする場合、ツールがインターネットに接続され、バッテリーが少なくとも 50% 充電されているか、電源コンセントに接続されていることを確認してください。

## 10.8 初期設定

---

リセットすると、検査ツールを元の工場出荷時の設定に戻します。復元されると、すべての個人データが削除され、摩耗限度データが調整され、最初に使用されたときに初期セットアップ手順が表示されます。

## 10.9 アニメーション回復ガイド

---

このオプションは、タイヤ溝深さ測定、ブレーキディスク測定、およびシステム校正を実行するためのアニメーションガイドを復元します。回復に成功しましたが表示されると、対応する画面にアニメーション ガイドが表示されます。



# 11 メンテナンスとサービス

ツールが最適なレベルで実行されるように、このセクションの製品メンテナンス手順に厳密に従うことをお勧めします。

## 11.1 メンテナンス手順

---

以下に、ツールを保守する方法と、注意を要する事項を示します：

- 柔らかい布とアルコールまたは軽度の窓掃除機を使用して、ツールのタッチスクリーンをきれいにします。
- 研磨剤洗浄剤、洗剤、自動車用化学薬品は使用しないでください。
- 乾燥した状態で、指定された温度内で工具を保管する。
- ツールを使用する前に手を乾かしてください。タッチ画面が湿っている場合、または濡れた手でタッチスクリーンをタップすると、タッチスクリーンが動作しないことがあります。
- 湿気、ほこりや汚れた場所にツールを保存しないでください。
- ハウジング、配線、コネクタの汚れや破損を各使用前および使用后に確認してください。
- ツールを分解しないでください。
- 落下させたり、ツールに衝撃を与えたりしないでください。
- 指定された充電器とアクセサリのみを使用してください。無許可の充電器および付属品の使用によって引き起こされた損傷は、製品の保証を無効になる。
- バッテリー充電器が導電性の物体に接触していないことを確認する。
- 電子レンジ、コードレス電話、一部の医療器具や科学機器の横にあるツールを使用して信号干渉を防ぐのは避けてください。

## 11.2 故障時のガイド

---

A. ツールが正常に動作しない場合::

- ツールがオンラインで登録されていることを。
- システム ソフトウェアと診断アプリケーション ソフトウ

エアが適切に更新されていることを確認する。

- ツールがインターネットに接続されていることを確認する。
- すべてのケーブル、接続、インジケータをチェックして、信号が受信されているかどうかを確認する。

B. ツールをオンにできない場合:

- ツールが電源に接続されているか、バッテリーが充電されていることを確認します。

C. ツールを充電できない場合:

- あなたの充電器は故障しているかもしれません。最寄りの販売店にお問い合わせください。
- このツールを過度に高温/低温の環境で使用しようとしている可能性があります。適度な温度でツールを充電する。
- ツールが充電器に正しく接続されていない可能性があります。コネクタを確認する。

---

 **注意**

問題が解決しない場合は、Autel のテクニカルサポート担当者またはお客様の販売代理店にお問い合わせください。

---

# 12 サービス手順

このセクションでは、技術サポート、修理サービス、および交換部品またはオプション部品のアプリケーションに関する情報を紹介します。

## 12.1 テクニカルサポート

---

製品の操作に関するご質問や問題がある場合は、お問い合わせください。

### AUTEL 北米

- 電話: 1-855-288-3587 Monday-Friday 9am–6pm EST
- ウェブサイト: [www.autel.com](http://www.autel.com)
- Email: [sales@autel.com](mailto:sales@autel.com); [ussupport@autel.com](mailto:ussupport@autel.com)
- 住所: 175 Central Avenue, Suite 200, Farmingdale, New York, USA 11735

### AUTEL ヨーロッパ

- 電話: 0049 (0) 6103-2000520
- ウェブサイト: [www.autel.eu](http://www.autel.eu)
- Email: [sales.eu@autel.com](mailto:sales.eu@autel.com); [support.eu@autel.com](mailto:support.eu@autel.com)
- 住所: Adalperostraße 82, 85737 Ismaning, Germany

### AUTEL CHINA HQ

- 電話: 0086-755-2267-2493
- ウェブサイト: [www.autel.com](http://www.autel.com)
- Email: [sales@auteltech.net](mailto:sales@auteltech.net); [support@autel.com](mailto:support@autel.com)
- 住所: 7<sup>th</sup>, 8<sup>th</sup>, and 10<sup>th</sup> Floor, Building B1, Zhiyuan, Xueyuan Road, Xili, Nanshan, Shenzhen, 518055, China

### AUTEL LATIN AMERICA

- ウェブサイト: [www.autel.com](http://www.autel.com)
- Email: [sales.latin@autel.com](mailto:sales.latin@autel.com); [latsupport02@autel.com](mailto:latsupport02@autel.com)

- 住所: Avenida Americas 1905, 6B, Colonia Aldrete, Guadalajara, Jalisco, Mexico

#### **AUTEL APAC**

- 電話: +045 5948465
- Email: [sales.jp@autel.com](mailto:sales.jp@autel.com); [support.jp@autel.com](mailto:support.jp@autel.com)
- 住所: 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 3 丁目 7 番 18 号 日総 18 ビル 719
- ウェブサイト: [www.autel.com/jp/](http://www.autel.com/jp/)

#### **AUTEL IMEA DMCC**

- ウェブサイト: [www.autel.com](http://www.autel.com)
- 電話: +971 585 002709
- Email: [sales.imea@autel.com](mailto:sales.imea@autel.com); [imea-support@autel.com](mailto:imea-support@autel.com)
- 住所: Office 1006-1010, Cluster C, Fortune Tower, Jumeirah Lakes Tower (JLT), Dubai, U.A.E

## **12.2 リペアサービス**

---

修理のためにデバイスを返却する必要がある場合、[www.autel.com](http://www.autel.com) また [www.maxitpms.com](http://www.maxitpms.com) から修理サービスフォームをダウンロードし、フォームを記入してください。次の情報を含める必要があります:

- 連絡先
- 返送住所
- 電話番号
- 製品名
- 故障に関する説明
- 保証修理の購入証明
- 非保証修理の希望支払い方法

---

## ① 注意

非保証修理の場合、支払いは **Visa、Master Card**、または承認されたクレジットカードで行うことができます。

---

デバイスを最寄りの販売代理店または以下のアドレスに送付してください:

8th Floor, Building B1, Zhiyuan, Xueyuan Road, Xili, Nanshan, Shenzhen,  
518055, China

---

## 12.3 他のサービス

---

オプションのアクセサリは、**Autel** 認定ツールサプライヤー、またはお客様の地域代理店または販売代理店から直接購入できます。

発注書には次の情報が含まれている必要があります:

- 連絡先
- 製品名または部品名
- アイテム説明
- 購入数量

# 13 コンプライアンス情報

## 13.1 FCC Compliance **FCC ID: WQ8TBE200**

---

このデバイスは、FCC 規則およびカナダ産業のライセンス免除 RSS の第 15 部に準拠しています：

1. このデバイスは、有害な干渉の原因となってはならない。
2. このデバイスは、デバイスの望まない操作の原因となる干渉を含む、いかなる干渉も許容しなければならない。

---

### 警告

コンプライアンスの責任者によって明示的に承認されていない変更または修正を行うと、機器を操作するユーザーの権限が無効になる場合があります。

---

### 注意

この装置はテストされ、FCC 規則の第 15 部に従ってクラス B のデジタル装置の限界に従うことを発見した。これらの制限は、住宅施設の有害な干渉に対する合理的な保護を提供するように設計されています。

---

この装置は使用を生成し、無線周波数エネルギーを放射することができ、インストールされていないと、指示に従って使用する場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定のインストールで干渉が発生しない保証はありません。この装置が無線またはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合、機器の電源を入れたりオンにしたりすることで判断できる場合、ユーザーは以下の 1 つ以上の措置によって干渉を修正するようお勧めします：

- 受信アンテナの向きを変えるか、再配置します。
- 機器と受信機の間隔を広げてください。
- 受信機が接続されているものとは別の回路のコンセントに機器を接続します。ディーラーまたは経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談してください。

コンプライアンスの責任者によって明示的に承認されていない変更または修正を行うと、機器を操作するユーザーの権限が無効になる場合があります。

## 13.2 SAR

---

このデバイスの放射出力は、FCC の無線周波数暴露制限を下回っていますが、デバイスは、通常の操作中に人との接触の可能性が最小限になるように使用する必要があります。

ワイヤレスデバイスの露出基準は、比吸収率（SAR）と呼ばれる測定単位を採用しています。FCC によって設定された SAR 制限は  $1.6 \text{ W / Kg}$  です。SAR のテストは、FCC によって受け入れられた標準動作位置を使用して行われ、デバイスは、テストされたすべての周波数帯域で最高の認証された電力レベルで送信します。

SAR は認定された最高の電力レベルで決定されますが、動作中のデバイスの実際の SAR レベルは最大値を大きく下回る場合があります。これは、ネットワークに到達するために必要な電力のみを使用するように、デバイスが複数の電力レベルで動作するように設計されているためです。FCC の無線周波数暴露の制限を超える可能性を回避するには、アンテナへの人の近接を最小限に抑える必要があります。

## 13.3 RF 警告宣言

---

デバイスは、一般的な RF 露出要件を満たすように評価されています。装置は制限なし、携帯用露出条件の使用することができる。

## 13.4 RoHS コンプライアンス

---

このデバイスは、ヨーロッパ RoHS 指令 2011/65/EU に準拠すると宣言されています。

## 13.5 CE コンプライアンス

---

本製品は、以下の指令の必須要件に適合すると宣言されており、それに応じて CE マークを運びます：

EMC Directive 2014/30/EU

R&TTE Directive 1999/5/EC

Low Voltage Directive 2014/35/EU

# 14 保証

## 14.112 ヲ月限定保証

---

Autel Intelligent Technology Corp., Ltd. (当社) は、この MaxiSys 診断デバイスの最初の小売購入者に対し、通常の使用および通常の条件下で、この製品またはその一部が、製品のエラーにつながる材料または仕上がり欠陥があることが証明された場合保証します。購入日から 12 ヲ月以内に、そのような欠陥は、当社の選択により、修理または購入証明と交換 (新しい部品または再構築部品で) されます。

当社は、デバイスの使用、誤用、または取り付けに起因する偶発的または間接的な損害について責任を負いません。一部の地域では、保証期間の制限を許可していないため、上記の制限が適用されない場合があります。

**この保証は以下には適用されません:**

- 1) 異常な使用または状態、事故、誤操作、放置、無許可の変更、誤用、不適切な設置または修理または不適切な保管を受けた製品;
- 2) 機械的シリアル番号または電子シリアル番号が削除、変更、または破損された製品;
- 3) 過度の温度または極端な環境条件への暴露による損傷;
- 4) 当社が承認または承認していないアクセサリまたはその他の製品への接続、または使用から生じる損傷;
- 5) 外観、化粧品、装飾品、または構造部品 (フレーム部品や非動作部品など) の欠陥。
- 6) 火災、汚れ、砂、バッテリーの漏出、切れたヒューズ、盗難、または電源の不適切な使用などの外部原因により損傷した製品。

---

### ❶ 重要

製品のすべての内容は、修理の過程で削除される場合があります。保証サービスのために製品を提供する前に、製品の内容のバックアップコピーを作成する必要があります。

---